

博物館出前授業 「縄文土器はどれでしょう」

博物館では希望する小中学校へ資料を持って訪問する「出前授業」を行っています。その中から月越小学校で行われた授業についてご紹介します。

小学校6年生の歴史の授業は、縄文・弥生時代から始まります。今回は新学年早々の月越小学校に、当時使われていた土器の破片を持って伺いました。

カゴの中に配られた破片の中から縄文土器を選ぶという課題に挑戦します。初めて歴史の勉強に取り組む子ども達は意欲満点で、真新しい教科書や資料集を食い入るように見つめ、実物と比べながら

話し合っただけで答えを出してしまいました。

最後に班ごとに発表です。根拠をもって

縄文土器か否かを述べていきますが、見事に

全班正解！なぜなら

全て縄文土器だったからです。教科書は時代を一部しか見せてくれ

ません。資料について

考え当時を想像するこ

とこそが、歴史を学ぶ

醍醐味だと子ども達は

目を輝かせていました。



教員が主体的に学ぶ「教育フェスタKAWAGOE」



大学の先生による講演

8月10日、川越市立教育センターで、第3回教育フェスタKAWAGOEが

開催されました。午前の講演会では約130人、午後の発表では「インタラクティブ(双方向)」をテーマに24講座が設けられ、約450人の教員が参加しました。川越市の友好都市、福島県棚倉町から教育長、小中学校長等8人の方々も参加しました。



道徳の教科化に向けての講座

家康没後400年記念特別展 開催中 徳川家康と天海大僧正 —家康の神格化と天海— 10月14日(土)～12月3日(日)

徳川家康(1542～1616)は三河の一大名から天下を統一し、元和2年(1616)、駿府で亡くなりました。家康は死後に神格化され、翌3年(1617)、霊柩は久能山から日光山に移されました。霊柩が日光山に移される途中、天海が住持を勤めた喜多院に留まり、天海によって大規模な法要が営まれました。これを契機に、寛永10年(1633)、仙波東照社が喜多院境内に建立されました。

このように川越は天海を介して家康と深い関わりがあり、元和3年(1617)がそれを象徴する年といえます。今年(2017)は元和3年から400年という節目の年に当たります。そこで家康没後400年記念特別展として、家康と天海にゆかりの深い喜多院と仙波東照宮に伝来する宝物等を展示しています。この特別展では、江戸初期の川越がいかに江戸と深く結びついていたのかをみることができます。



木造天海僧正坐像
(喜多院蔵、埼玉県指定文化財)

木造天海僧正坐像は天海(1536～1643)生前中の最晩年の姿を造立した肖像彫刻として大変貴重な資料です。頭巾を被り法服の上に袈裟と横被をかけ、袴の上には裳をつけ、右手で扨子を握り曲録に座る姿となっています。この姿は、天台宗系僧侶の最も格式の高い礼服をまとい、大僧正の風格が感じられます。

普段は、喜多院慈眼堂内に安置されていますが、この特別展の期間は、当館特別展示室で展示しています。ぜひこの機会にご覧ください。

川越市立博物館 TEL 222-5399

本年度は全日の開催とし、午前に講演会、午後に発表と、内容の濃い研修会となりました。前半の講演では、これからの学習指導の方向性について思考を巡らせ、後半の発表では、市内教職員の優れた実践の発信や模擬授業、実験や体験など、発表者と参加者が意欲的に学び合い、高め合いました。子どもたちの深い学びの場を目指す教員にとって充実した時間となりました。



進学、就学を応援します!

問い合わせ…教育総務課総務担当 TEL 224-6074

■川越市大学奨学金(給付型)

来年4月から、大学に進学する高校生等で、経済的に教育費などの支出が困難な方に、返済を必要としない給付型奨学金を支給します。なお、他の奨学金制度を受ける方も申請できます。

申請することができる方(次の要件をすべて満たしていること)

- ①市内に引き続き1年以上在住している
- ②世帯全員の所得額の合計(世帯所得)が下表の基準額未満である
- ③高等学校または高等専門学校に在籍していて全科目評定平均が3.5(5段階評価)以上である
- ④学校長の推薦を受けられる

(世帯所得の基準額)

世帯人数	2人	3人	4人	5人以上
世帯所得額	340万円	380万円	450万円	490万円

定 員…5人程度

給付金額…入学準備金 20万円、学資金 3万7,500円(月額)

提出書類…①支給申請書(作文含む) ②校長の推薦書 ③成績証明書 ④住民票(世帯全員のもの)
⑤世帯全員の平成28年中の所得がわかるもの ⑥生活保護受給証明書(生活保護を受給している方)
⑦児童養護施設在籍証明書(児童養護施設に入所している方)

*作文は600字程度。テーマは「大学で学びたいこと」。

*①②の用紙は、教育総務課(東庁舎2階)に用意してあります。市ホームページからもダウンロードできます。

(ホームページ=<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>)

申し込み…11月1日(水)から11月30日(木)(必着)までに教育総務課

(郵送可。郵送の場合は 〒350-8601 川越市教育委員会 教育総務課)

*奨学生の決定にあたっては1次選考(書類選考)及び2次選考(面接)の審査があります。申請された方全員に給付が決定されるとは限りません。

■育英資金 ~借り入れ申し込み案内~

来年4月から、高等学校・中等教育学校(後期課程に限る)・高等専門学校・短期大学・大学・専修学校に進学する方または在学中の方で、経済的に学資金などの支出が困難な方に、無利子で資金をお貸しします。

申請することができる方(次の要件をすべて満たしていること)

- ①市内に引き続き6か月以上在住している
- ②経済的理由で、学資金や入学準備金の支出が困難である
- ③心身健全で、かつ学業成績が良好である

償還期間…貸付期間の2倍(据え置き期間=卒業後6か月)

提出書類…①学資金・入学準備金借入申請書 ②校長の推薦書 ③成績証明書 ④健康診断書 ⑤住民票(世帯全員のもの) ⑥合格通知の写し ⑦世帯全員の所得のわかるもの

*①②の用紙は、12月11日(月)より、教育総務課(東庁舎2階)・市立中学校に用意いたします。また、同日より市ホームページからもダウンロードできます。

(ホームページ=<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>)

*⑥は、申し込み後の提出も可能です。

申し込み…申し込み期間等の詳細は後日、広報川越及び市ホームページにてお知らせする予定です。

*貸付決定にあたっては、審査があります。申請された方全員に貸し付けが決定されるとは限りません。

区分	貸付金額		
学資金	高等学校・中等教育学校(後期課程に限る)・専修学校	国公立	(月額) 13,000円
		私立	(月額) 20,000円
	高等専門学校		(月額) 16,000円
	大学(短期大学を含む)		(月額) 30,000円
入学準備金	高等学校・中等教育学校(後期課程に限る)・専修学校	国公立	150,000円
		私立	280,000円
	高等専門学校		160,000円
	大学(短期大学を含む)		360,000円